

令和7年度指定管理者評価シート

1. 管理運営の状況等

(1) 施設名	さいたま市新治ファミリーランド					
(2) 施設概要	①所在地 群馬県利根郡みなかみ町相俣159番地1 ②施設の設置目的 豊かな自然環境の中で市民の健康の増進及び余暇活動の充実を図るため ③施設の概要 ・開設:平成13年4月25日 ・面積:敷地面積44,330.66㎡ 延床面積947.37㎡ ・構造:木造(一部RC造) ・客室:コテージ5棟、バンガロー1棟 ・付属施設:オートキャンプサイト9区画、キャンプサイト16区画、管理棟、炊事棟2棟、水回り棟、温泉棟、トイレ棟					
(3) 指定管理者	首都圏建物サービス協同組合					
(4) 指定期間、指定管理料	①指定期間 令和6年4月1日～令和11年3月31日 ②指定管理料(直近3か年) 令和5年度 8,085千円、令和6年度 4,388千円、令和7年度 8,583千円					
(5) 施設の管理運営の内容	①運営業務の状況(利用状況含む) ◇利用状況 ・利用者数 5,313人(前年度-人) ・稼働率26.9%(前年度-%) ※令和6年度は中規模修繕工事のため休館 ◇業務実施状況 ・電話対応、予約受付、利用案内 ・用品及び備品の貸出しと管理 ・施設内の設備及び備品の修理点検 ・施設内の巡回点検 ・閉鎖時の巡回点検及び点検管理 ②維持管理業務の状況 ・各施設の維持管理 ・施設内樹木の剪定、消毒及び除草 ③その他の業務 ・食品、アウトドア用品等の販売 ・レンタル品の貸出し ・アンケートイベント、キャンペーン					
(6) 収支状況	収入(費目)	収入(金額)	前年度	支出(費目)	支出(金額)	前年度
	利用料金収入	9,963千円	(-円)	人件費	12,066千円	(1,639千円)
	指定管理料	8,583千円	(4,388千円)	事務費	756千円	285千円)
				施設管理費	8,599千円	(1,706千円)
	【自主事業】					
	収入	558千円	(-円)	支出	437千円	(119千円)
(7) 利用者アンケート等による 市民からの意見・要望等への 対応	・アンケートの常設の他、利用の多い時期にアンケート強化イベントを行い、239枚のアンケートを回収した。 ・施設利用マナーに関してご意見をいただき、注意喚起掲示や受付時の案内を行い、マナー向上に努めた。 ・施設不具合に関しては、解消できる内容は不具合解消に努め、その他不具合箇所については市と検討し、解消に尽力した。					
(8) その他						

2. 提案内容の達成状況

(指定管理者から提案のあった項目の達成状況)

提案内容	達成状況
利用者サービス向上に関する取組	温泉棟休憩所にライブラリーコーナーを新設した。入浴後の休憩での利用や各利用場所への貸出しを行い、余暇を楽しむためのコンテンツを増やした。 キャッシュレス決済導入のため、通信環境調査や備品の調達を行ったが、令和7年度内の導入には至らなかった。
利便性向上に関する取組	キャンプ用品の充実を図り、利用者が快適に過ごすことが出来るよう努めた。 バーベキュー食材、アイスクリーム等の食材を販売した。
利用促進に関する取組	施設情報の周知のため、HPやSNS等を適宜更新し、情報発信を行った。 みなかみ町内各所にパンフレットを設置し、利用促進を図った。
中規模修繕後のリニューアルオープンに関する取組	施設リニューアルオープンキャンペーンとして、利用者に対し、ティッシュなどの粗品をプレゼントした。

3. 評価

(1) 指定管理者による評価

令和7年度は中規模修繕工事後のPRやキャンペーンを行い、施設の認知度向上に努めました。新設の設備の仕様や取扱いを確認し、安全な施設管理を行いました。
サービス向上の取り組みとして、備品等の拡充や休憩スペースの活用を行い、利用満足度向上につなげました。
利用者アンケートは強化イベントを行い、239枚回収することができました。様々な意見・要望を聴取し、利用者が快適に過ごすことができるよう運営に反映させました。
今後は更にPRやサービス向上に努め、修繕工事前の利用者数を超え、施設稼働率を向上することができるよう尽力してまいります。

(2) さいたま市の評価(評価担当課:市民局市民生活部市民生活安全課)

総合評価(B)※A～D
1 項目別の評価
①市民の平等利用、市民サービスの向上、利用促進については、職員研修の充実に加え、アンケートイベントを開催することで、多くの利用者の意見を収集し、満足度向上に向けた改善を図ったことが確認された。アンケート結果より、2回目以上の利用者が多く、また利用したいと思われる施設運営ができていると考えられる。
②経費の削減については、水抜き作業では工事前後の仕様変更に伴い作業費の増加があったが、業務の効率化を図り、消耗品費の支出を抑えるなど、支出を最低限度に留める姿勢が伺えた。
③適正な管理運営の確保については、月次報告で毎月の管理状況が報告されており、危機管理体制も整備されていた。また、キャンプ用品や消耗品の充実を図り、利用者目線の運営に努めていた。以上より、安心・安全な運営に努めていたと判断される。
2 総合評価
・各項目について、市が求める水準を満たしていることから総合評価をBとした。

(3) 来年度の管理運営に対する指導事項等

今後もアンケートイベントを開催し、多くの利用者の意見を収集することで、アンケート結果から確認される要望の反映、施設運営の改善を継続し、利用者満足度向上に努めていただきたい。
SNSを活用し、新規顧客獲得に向けた広報活動を強化することで、利用料金収入の増加を図っていただきたい。
リピーターが離れることがないよう、快適な利用環境の整備に向けて、細かい場内のマナーや注意喚起について、周知を徹底していただきたい。